

# OZ1

## 自治体×企業で取り組む地域課題解決 ～まちづくりのコンセプトを考える～

### 自治体との取組みにおける結節点 (≒コンセプト) のつくり方

# 自治体のスマートシティに思う事

## 自治体的マインド

1. 住民が住みやすい (QoLの向上)
  - ・街の利便性があがり住民の満足度があがる
  - ・子供を安心して育てられる環境
2. 新しい産業ができる (雇用が生まれる) など

税金でサービスの拡充

## 企業的マインドに変換

1. 住民税の増加
2. 法人税の増加

## 財務基盤は大切

税収（収入）の安定化

# 自治体における税収

## 税収に感じるもの

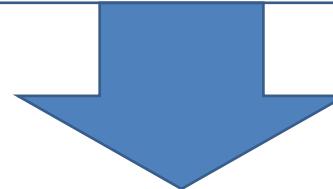
### 1. 住民税

少子高齢化が進み子供への負担など将来への不安

### 2. 法人税の増加

市場がモノづくりからGAFAのようなデジタル化が進む

国内産業はまだモノづくりが主体（簡単に企業は増えない）



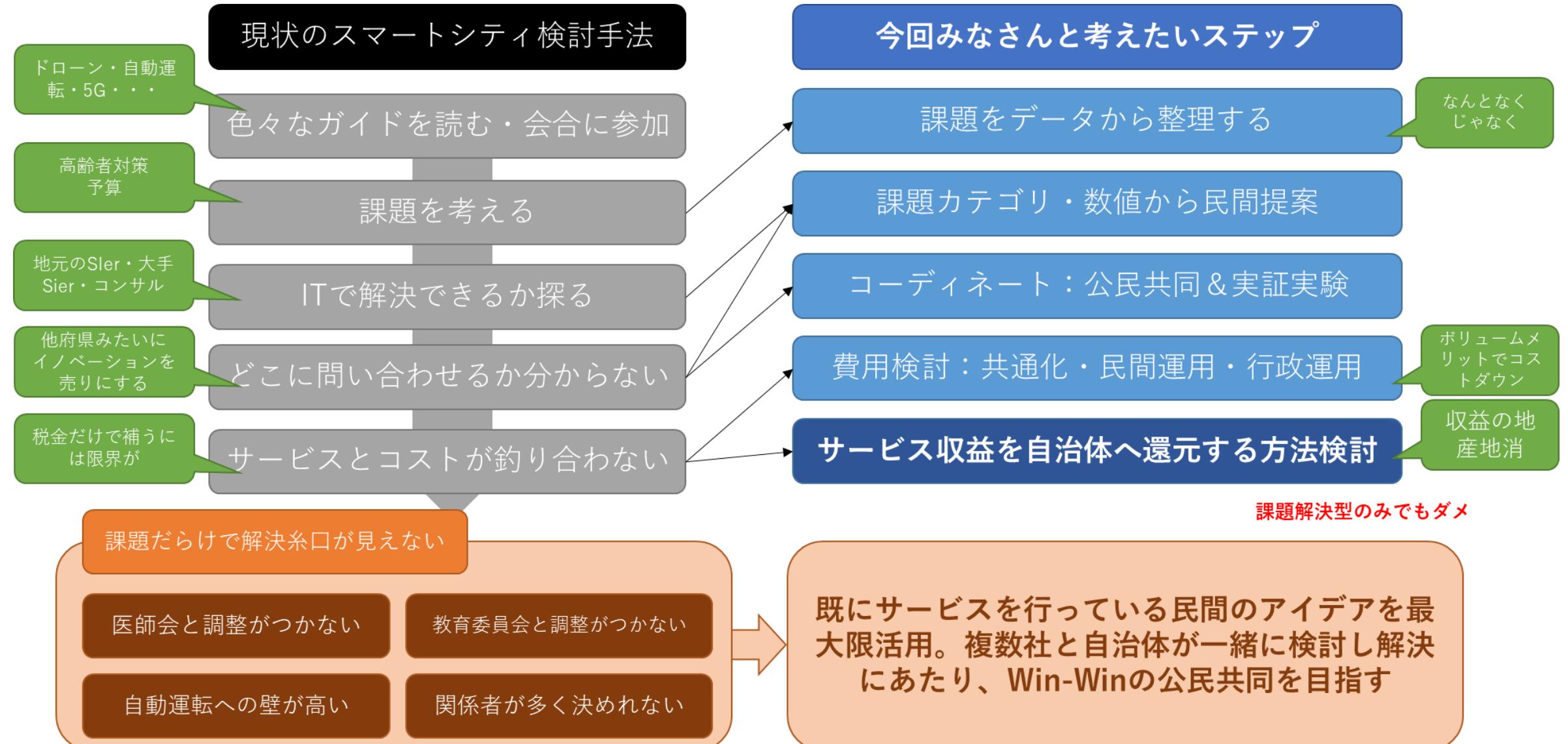
将来への漠然とした不安

## スマートシティへの期待

新しい産業で経済活性化し、住民サービスも増えて  
日本全体が活気づくかも・・・「何からすれば？」

# 大阪スマートシティパートナーズフォーラム (OSPF) では

## まずはスマートシティを考えると・・・



# ハイテクに含まれるオペレーションの壁

## 何が大変なのか先端技術

5G、自動運転、ドローンなどの最新の世界を変える技術は**オペレーションも開発中**  
(先端技術を否定しているのではなく、自費で1自治体が取り組むのはハードルが高い)

### 5G

対応機器が少なく、基地局もこれから。

→通信キャリアが5Gを引き、機器が出てきたタイミングでローカル5Gでもいいのでは？

ローカル5Gは基地局だけではダメ

→5Gは基地局と端末の通信速度が改善されるが、基地局からサーバーまでの距離は改善されない

→大阪のデータを東京や地方に送れば、5Gの意味が損なわれる所以、ローカルエッジサーバーが必要

使用用途がはっきりしてから、必要な機材と一緒に考えていきましょう。Wi-Fi6でも十分高速通信できます。

### 自動運転

自動運転の技術から始まり、車の保険、既存車とのルール、サービス提供社（運営、保証、メンテナンスなど）整えるべき課題は多くあります。

自治体が導入すると自治体の責任で上記を解決するにはリソースが膨大に掛かります。

### ドローン

監視・管理での運用から自動配送など幅広く実用を期待されてますが、法的ルールや運用面が複雑で、安定した技術も開発中です。

Q: 住宅街を飛行中に配送ドローンが突風で他人の家に墜落し窓ガラスを割った場合、誰の責任？

選択肢：ドローン企業、サービス会社、推奨した自治体

国の助成金や交付金など活用して実装もできるが**オペレーションコストが読めない**状態に…

# 企業目線のイノベーション

イノベーションを検索すると、情報が多すぎて企業側は何を基準に見ているのか？

オープンイノベーション

イノベーションハブ

イノベーションプラットフォーム

日本最大のイノベーションプラットフォーム

AUBA (eiicon) PR一覧



日本各地で起こってる  
「イノベーション祭」

企業側でも何が起こってるか  
知るのは結構大変

結果、目先の課題解決がビジネス

約14,100,000件

約2,580,000件

約10,800,000件

4,887件



最近のFacebook広告

検索「イノベーションハブ」

INNOVATION HUB KYOTO

OSAKA INNOVATION HUB

!nnoHub

宇宙探査

INNOVATION HUB

TOKYO  
INNOVATION  
HUB

Campus  
Innovation Hub HIROSHIMA

i Think  
Techno  
Hub  
INnovation  
Kawasaki

G  
INNOVATION HUB  
YOKOHAMA

Innovation Center  
for Meteorological  
Disaster Mitigation

FUJIFILM  
Open Innovation Hub

中部の新ビジネスを創造する人・情報・技術の交流拠点  
名古屋駅前イノベーションハブ  
Nagoya Station Office for Innovation Hub

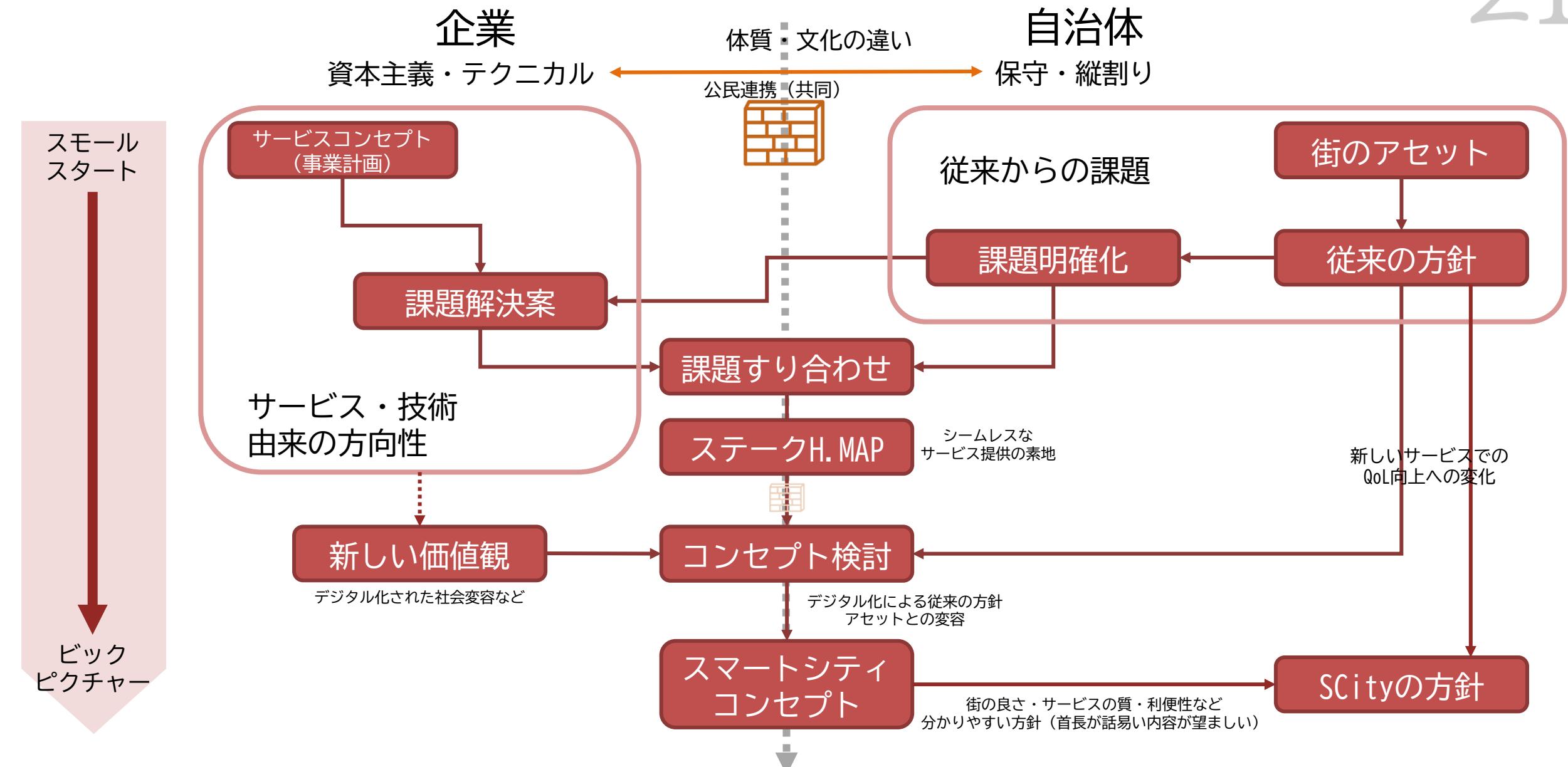
しがハブ!  
滋賀 SDGs × イノベーションハブ

Yahoo! の5ページまでにあるハブ

# 自治体との取組みにおける結節点 (≒コンセプト) のつくり方

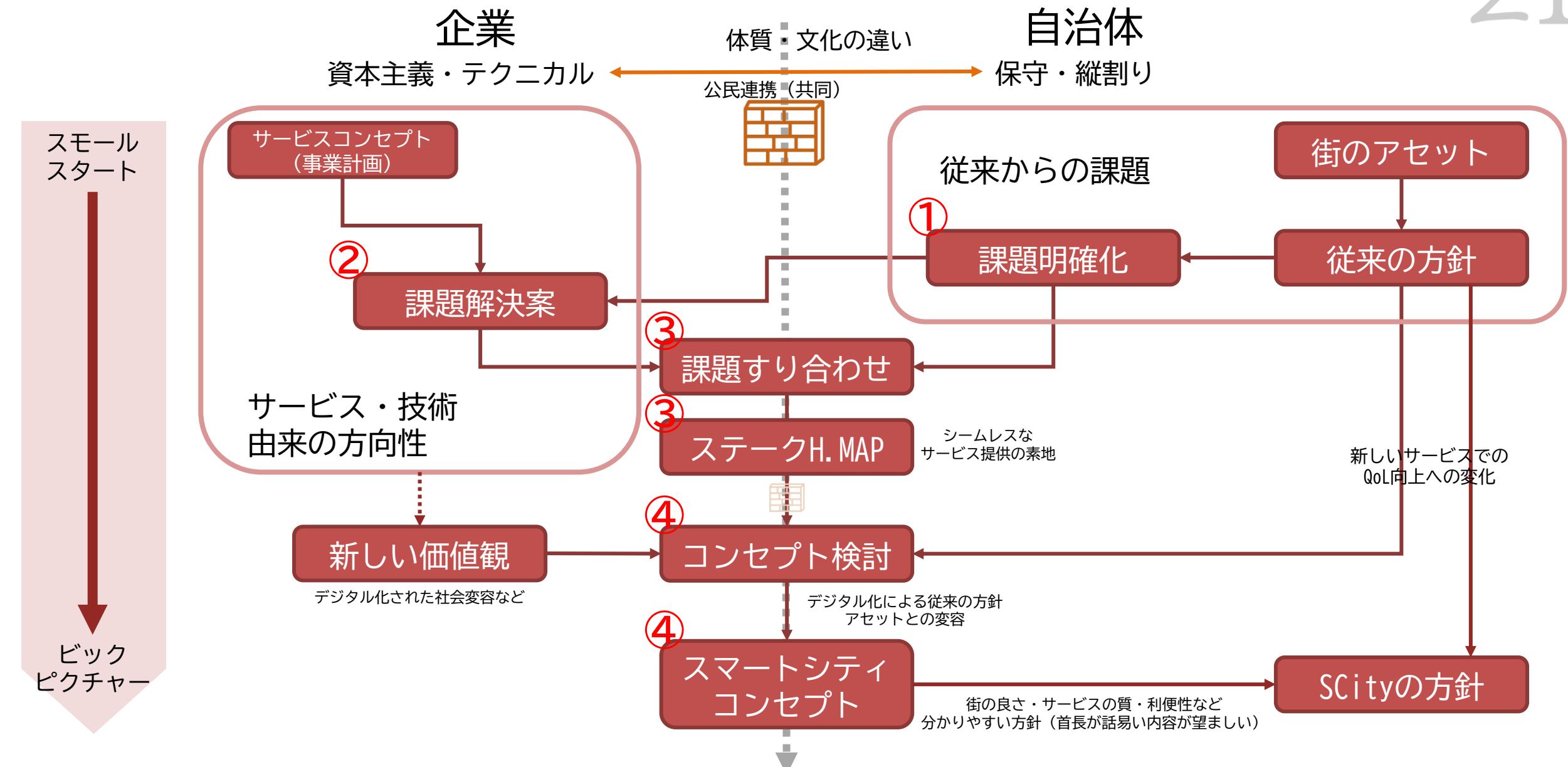
# スマートシティコミュニケーションの流れ

Q1



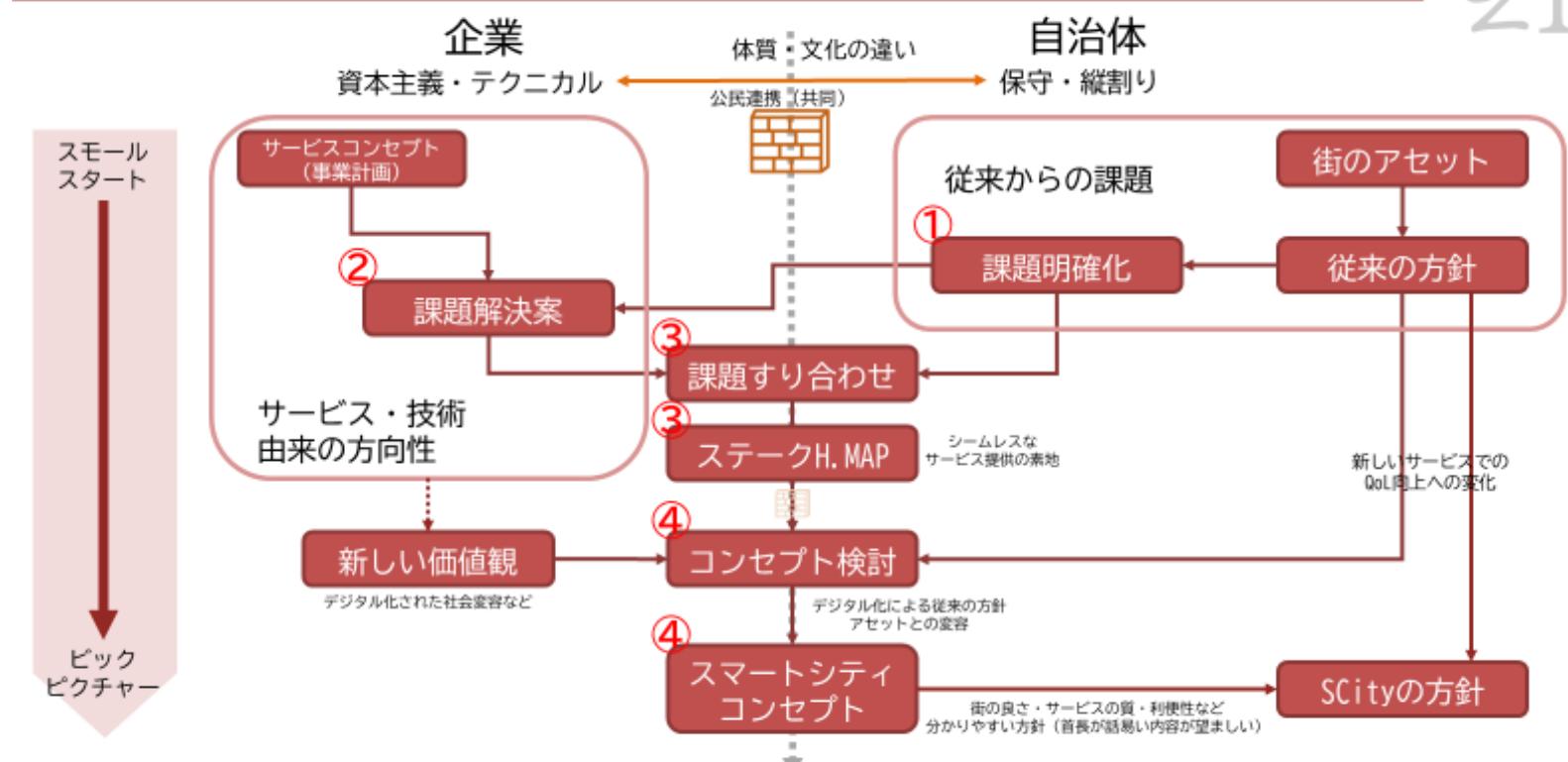
# スマートシティコンセプトの流れ

Q1



# ①自治体側の課題整理の流れ

## スマートシティコンセプトの流れ



# まずは自治体の課題を整理してみましょう！

**大阪府A市【3世代が繋がる町】** 例：シート①（回答必須）

**(1)解決したい課題分野** (2) 解決したい課題 に対する記号を記載。 目指す将来像を記載。

[ ] まちづくり [A] 少子化 [A] 高齢化 [B] 交通・移動 [ ] 医療・介護 [ ] エネルギー・資源 [ ] キャッシュレス [ ] 防災 [ ] 防犯  
 [ ] 物流 [ ] 行政 [ ] 教育 [ ] 観光 [ ] データ基盤連携 [ ] 通信網 [ ] 土地・インフラ整備 [ ] センサー [ ] その他

**(2)解決したい課題** 解決したい課題を記載。課題ごとにA、B、Cの見出しを記載。（最大3つまで）

A. 急速に進む人口流出と少子高齢化  
 - 2020年は、約〇〇〇〇人の人口が、2045年には約〇〇〇〇人になる。  
 - 人口流出と共に少子高齢化も進み、・・・等が課題となる。

B. 住民の交通手段  
 - 東西間の移動手段が不便であり・・・が必要である。

解説：解決したい課題を記載。（内容はICT技術と関係するものである必要はありません。）

**(3)課題解決のための糸口** 課題解決の糸口として検討している内容を記載（内容はICT技術と関係するものである必要はありません。）

A. 子育て世代が住みやすいまちづくり  
 - スマホアプリなどを活用し乗車予約が出来るオンデマンド交通等の整備。  
 - 遠隔教育や、位置情報サービスの活用による・・・サービスの展開。  
 - 高齢者と子どもがコミュニケーションが取れる公共施設の再整備。

B. 交通手段の不足を補う施策  
 - ドローンや自動運転車を用いた買い物弱者への配達サービスの実施。  
 - 健康診断データを収集するIoT機器の導入等による通院への負担軽減。

**(4)課題解決の対象住民数・関連するデータ** 課題と関連する数値データを記載  
 ※課題の主な対象となる概算住民数を必ず記載

○年齢別人口分布  
 ○駅利用者数(〇駅、約〇〇〇〇人)  
 ○1人あたりの自家用車保有台数(〇台/人)

○保育所・認定こども園数(〇か所)  
 ○学校数(小学校：〇校、中学校：〇校)  
 ○公共施設数 ...etc.

今後の課題解決に向けた予算の確保見込みを記載

**(5)課題解決に関連する事業予算（令和2年度・3年度予算）**

[ ] 令和2年度予算あり（ 千円） [ ] 令和3年度予算確保見込みあり（ 千円） [ ] 予算確保見込みなし

## 内閣府のテンプレート利用



課題は自治体が抱える  
カテゴリ（所管する部署）

or

自治体全体が抱える課題



企業はそのフィールドで  
ビジネスできるかが鍵

- この自治体でやるメリット
  - 人口が多い（マーケットサイズ）
  - 豊富な予算（売上直結）
  - 小回りが利く（実証フィールド）
  - 企業特有のサービスがハマりやすい

# 実際に書いてみた例

## 35 大阪府豊能町(3世代が繋がる町)

### (1)解決したい課題分野

[ ] 全体設計・コンサル・アーキテクト [ ] まちづくり総合 [A] 少子化 [A] 高齢化 [B] 交通・移動 [ ] 医療・介護 [ ] エネルギー・資源  
 [ ] 支払い・金融 [ ] 防災 [ ] 防犯 [ ] 物流 [ ] 行政 [ ] 教育 [ ] 観光 [ ] データ基盤連携 [ ] 通信網等 [ ] 土地・インフラ整備 [ ] センサー(埋没インフラ等) [ ] その他

### (2)解決したい課題

- A. 急速に進む人口流出と少子高齢化  
 - 2020年(7月末)は19,174人の人口が2045年には8,612人になる。  
 - 人口流出と共に少子高齢化も進み、2045年には町内のおよそ2人に1人が高齢者になる。
- B. 町民の主な交通手段が自動車  
 - 公共交通での移動が不便である。

### (3)課題解決のための糸口

- A. 子育て世代が住みやすいまちづくり  
 - スマホアプリなどで簡単に乗車予約が出来るオンデマンド交通。  
 - 公共施設の再配置による遠隔教育、位置情報サービスを利用し、子どもがストレスフリーに学び、遊べる場所づくり。
- A.B 高齢者が安全・安心に暮らせるまちづくり  
 - ドローンや自動運転車を用いた配達サービス。  
 - 健康診断データの収集、疾病リスクの予測。  
 - 高齢者と子どもがコミュニケーションが取れる公共福祉施設の開発。  
 →子ども・父母の三世代が快適に暮らせる町。

### (4)関連するデータ

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| ○年齢別人口分布                 | ○保育所・認定こども園数(2か所)   |
| ○町内3駅1日乗降客数(6,670人)      | ○学校数(小学校:4校、中学校:2校) |
| ○1人あたりの自家用車保有台数(0.52台/人) | ○公共施設数 ...etc.      |



### (4)実証する予算

[ ] 本年度予算あり ( 円) [ ] 予算無し。民間での運用検討依頼 [ ] 民間と今後予算検討可能

### 課題

少子高齢化（人口減）  
 高齢化に伴う移動手段

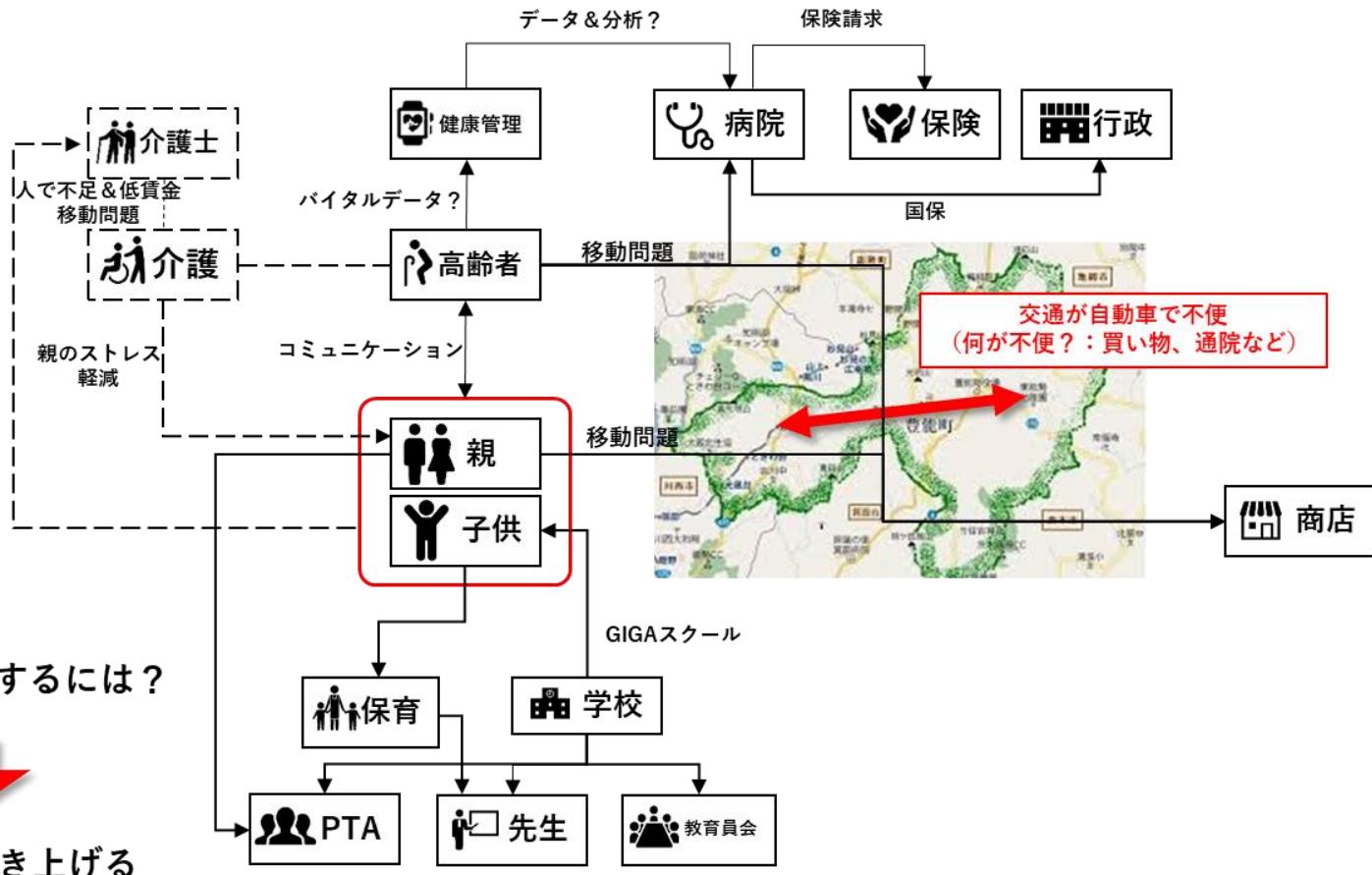


ハイテク活用から  
 住民サービス向上が目標



言葉から企業がフィールドとして  
 検討できるか？  
 (言葉だと分かりづらい)

# 言葉から読み解けないものを図で解説



# 図の書き方

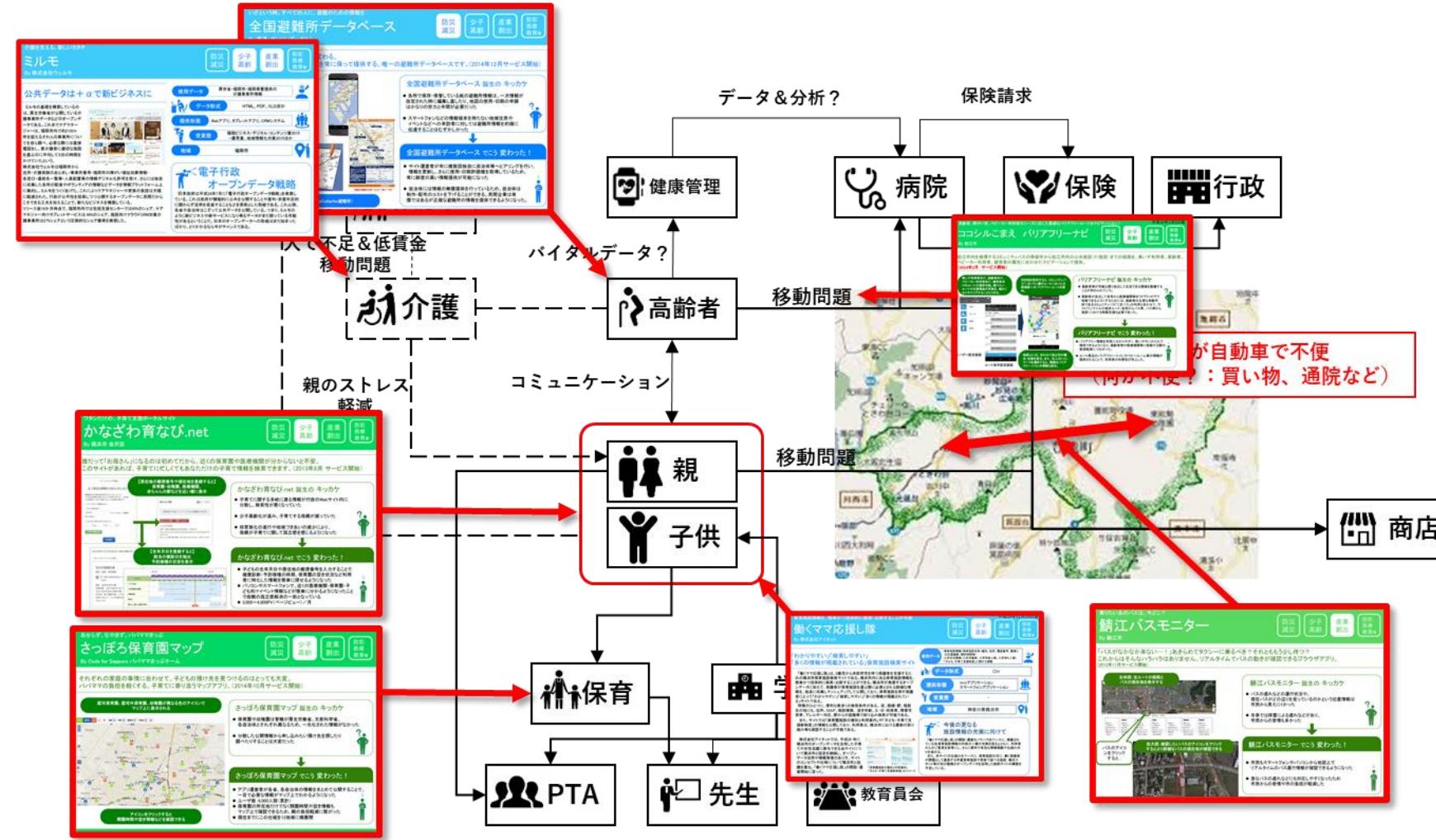
1. 言葉で出てくるモノを配置  
・人や施設

\*極力細かい粒度で書かない。  
具体例は、企業と話ながら  
(例: 足の悪い高齢者  
引きこもりの子供 など)

高齢者解決は企業が色々と提案する中に  
答えが見つかるケースが多いので、  
初期値が細かすぎると企業側が難しい

2. 線でつないでみる
  3. 枠・線に課題を書いてみる  
(書いていて思いついたら  
コメントを少し付け加えてみる)

# 図式化したら自分でもどんなサービスがあるのか調べてみる



政府CI0100でもオープンデータ活用したアプリを100個事例を掲載



見る事でサービスイメージが付く

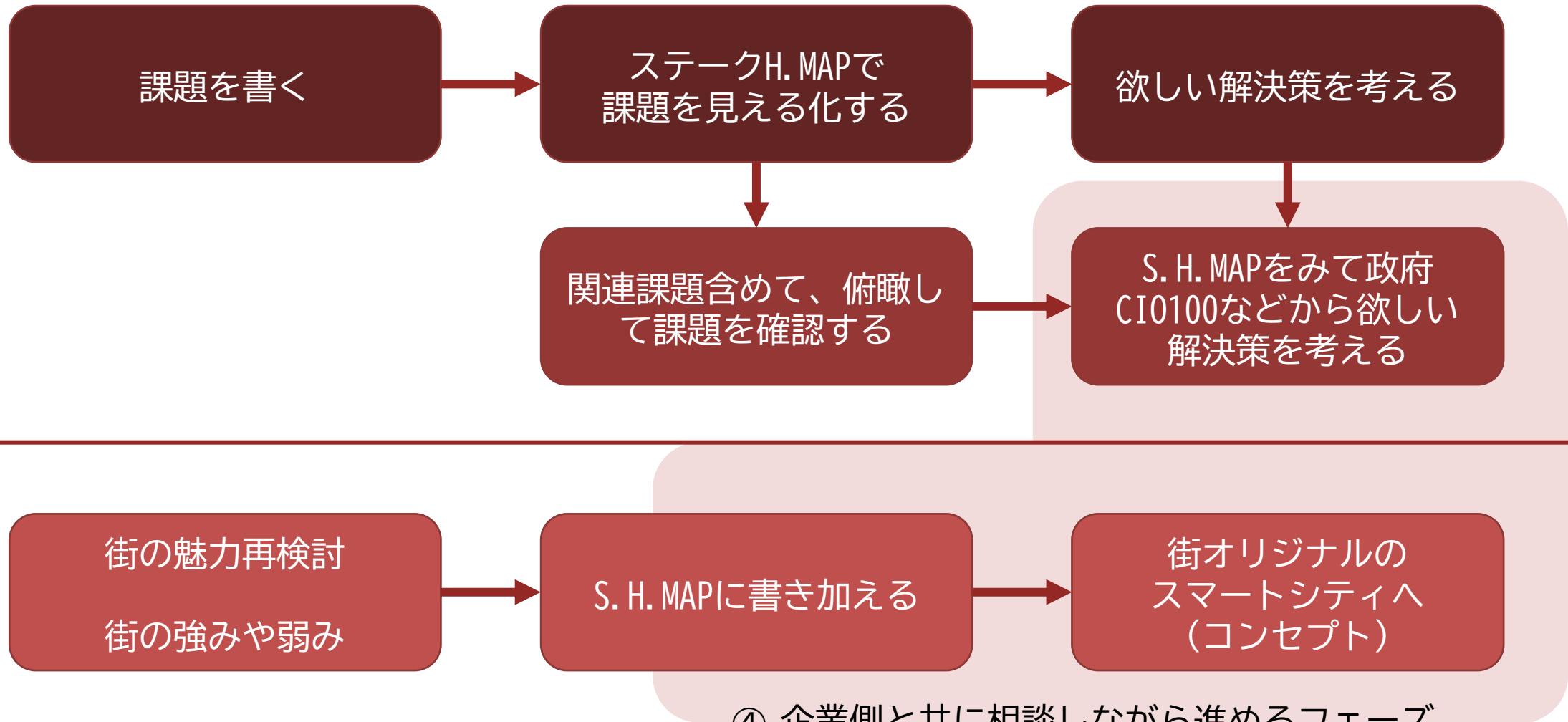


企業と一緒にブレストが出来る

企業側も一緒に考えてくれる相手  
(=やる気のある自治体)  
はお金に変えれない価値を生み出すケースも多い

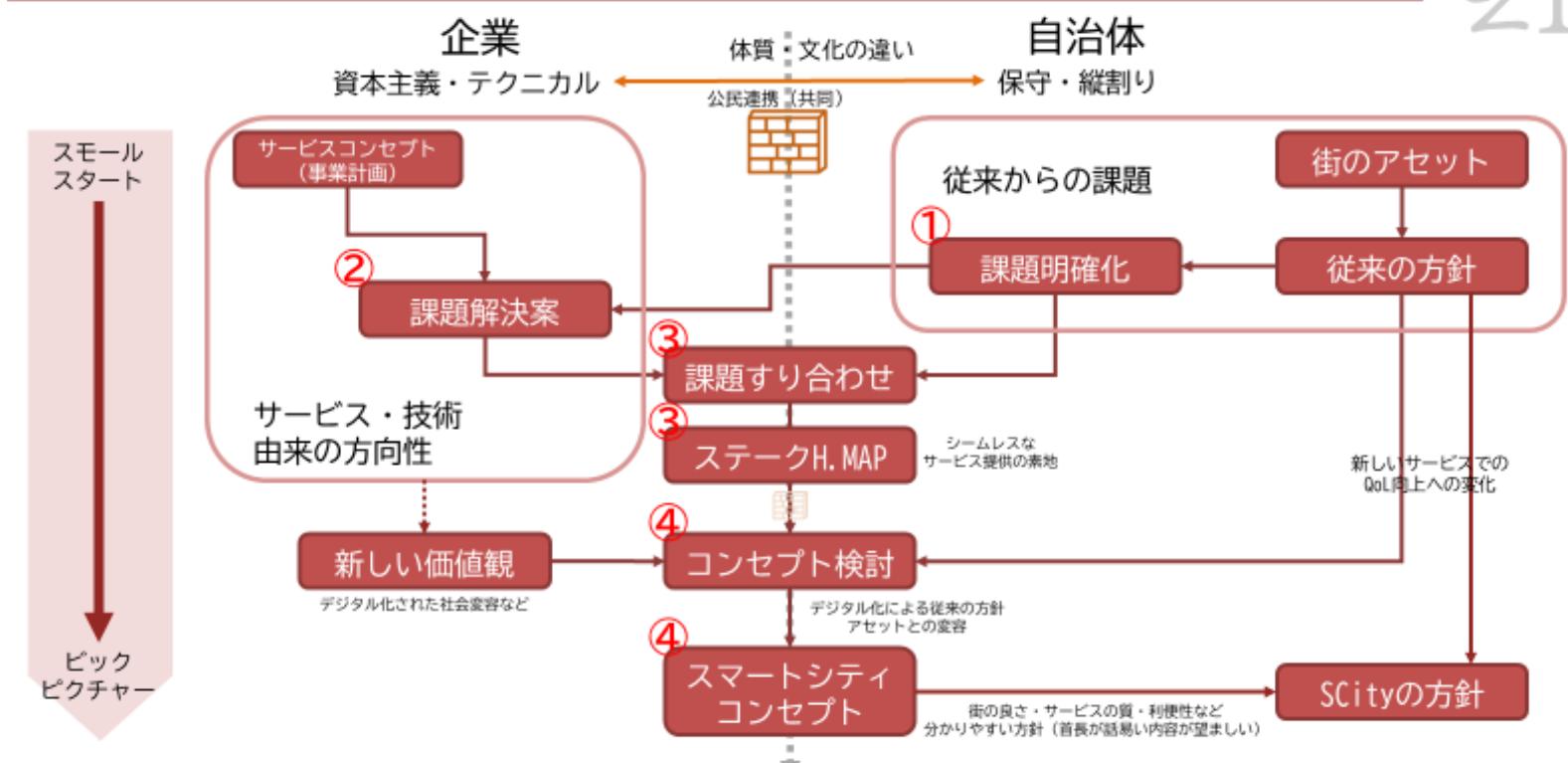
# 課題解決から見るスマートシティへの進め

## 自治体で進めるフェーズ



# ②③企業側の課題アプローチの流れ

## スマートシティコンセプトの流れ



# 課題からアプローチ先を検討

## 対応可能な自治体を探す

### 大阪府（総括）データで企業活動を促す

全体の課題は、少子化、子育て、高齢化を中心に住民に向けたサービスが課題

課題カテゴリ/市町村	対象地域数	大阪市	堺市	岸和田市	豊中市	守口市	吹田市	東大阪市	高槻市	茨木市	守口市	枚方市	八尾市	岸和田市	寝屋川市	河内長野市	枚方市	大東市	和泉市	柏原市	羽曳野市	門真市	高石市	藤井寺市	東大阪市	交野市	大阪市	豊能町	守法町	志紀町	熊取町	田尻町	太子町	河内町	千早赤阪村	対象人口
少子化	12	A																A																		
子育て	10	A			A				A									B																		
教育	6			A					A									B																		
高齢化・介護	17	A	A	A					A									A	A																	
健康	8	A		A					A										B	B	A	B	A													
福祉	5			A	A				A																											
まちづくり	11	A	A		A													B	A																	
交通・移動	13	A	B	B														C																		
観光	2																		B																	
ものづくり	1																		B																	
キャッシュレス	7		A	A															A																	
防災	7		A	A		B	B		A	A																										
防犯	2			A					B																											
行政手続き	14		A	A,B	B	A			A	A	A	D	A					A	B	A																
データ基盤構築・連携網	2								A																											
土地・インフラ・センター	0																																			
その他(魅力創造)	1																																			
その他(行政改革)	1																																			
その他(にぎわい)	1																																			
その他(三密対策)	1																																			
その他	1																																			
その他(労働)	1																																			
その他(情報発信)	1																																			
その他(住宅・働き方改革)	1																																			

2020/09/08現在

## 課題の概要を読む

### 35 大阪府豊能町(3世代が繋がる町)

#### (1)解決したい課題分野

[ ] 全体設計・コンサル・アーキテクト [ ] まちづくり総合 [A] 少子化 [A] 高齢化 [B] 交通・移動 [ ] 医療・介護 [ ] エネルギー・資源  
 [ ] 支払い・金融 [ ] 防災 [ ] 防犯 [ ] 物流 [ ] 行政 [ ] 教育 [ ] 観光 [ ] データ基盤連携 [ ] 通信網等 [ ] 土地・インフラ  
 整備 [ ] センサー(埋没インフラ等) [ ] その他

#### (2)解決したい課題

- A. 急速に進む人口流出と少子高齢化  
 - 2020年(7月末)は19,174人の人口が2045年には8,612人になる。  
 - 人口流出と共に少子高齢化も進み、2045年には町内のおよそ2人に1人が高齢者になる。  
 B. 町民の主要な交通手段が自動車  
 - 公共交通での移動が不便である。

#### (3)課題解決のための糸口

- A. 子育て世代が住みやすいまちづくり  
 - スマホアプリなどで簡単に乗車予約が出来るオンデマンド交通。  
 - 公共施設の再配置による遠隔教育、位置情報サービスを利用し、子どもがストレスフリーに学び、遊べる場所づくり。  
 A.B 高齢者が安全・安心に暮らせるまちづくり  
 - ドローンや自動運転車を用いた配送サービス。  
 - 健康診断データの収集、疾病リスクの予測。  
 - 高齢者と子どもがコミュニケーションが取れる公共福祉施設の開発。  
 →子ども・父母・祖父母の三世代が快適に暮らせる町。

#### (4)関連するデータ

- 年齢別人口分布  
 ○町内3駅1日乗降客数(6,670人)  
 ○1人あたりの自家用車保有台数(0.52台/人)  
 ○保育所・認定こども園数(2か所)  
 ○学校数(小学校:4校、中学校:2校)  
 ○公共施設数 …etc

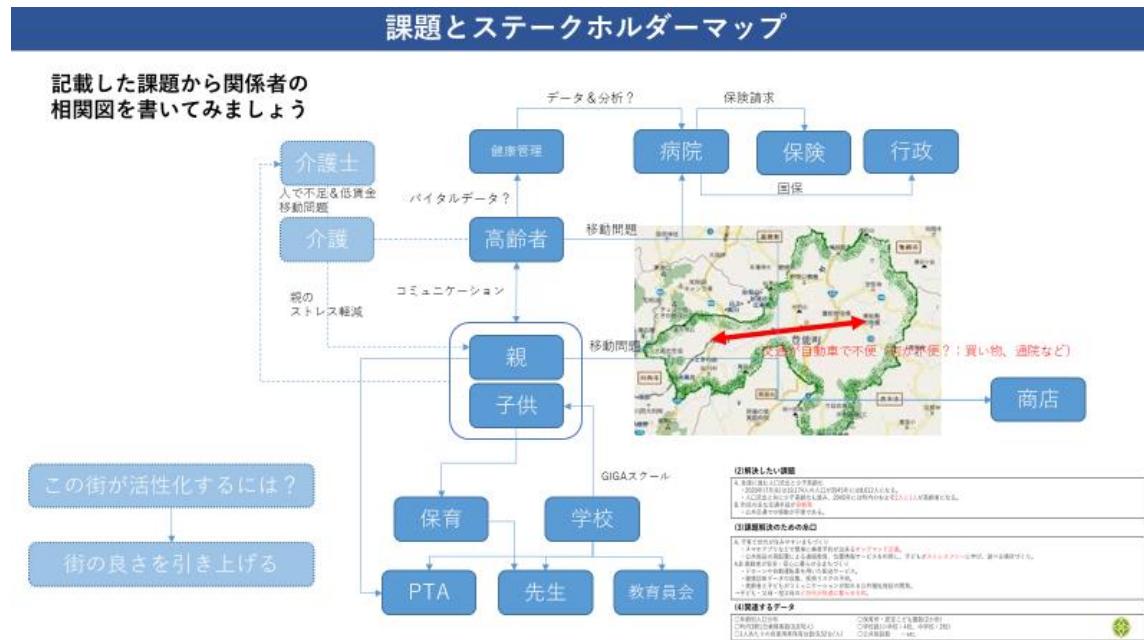
#### (4)実証する予算

[ ] 本年度予算あり ( ) 円 [ ] 予算無し。民間での運用検討依頼 [ ] 民間と今後予算検討可能

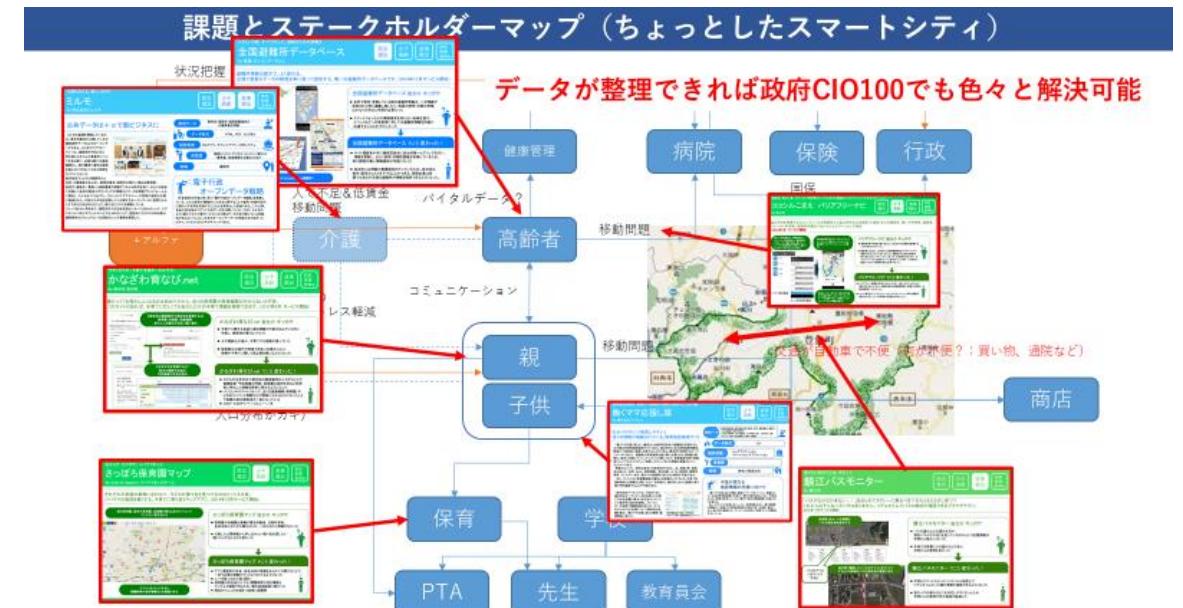


# 課題からアプローチ先を検討

## ステークホルダーマップから 相関性を確認する



## 自治体の要望を考える



+

Webなどからの情報

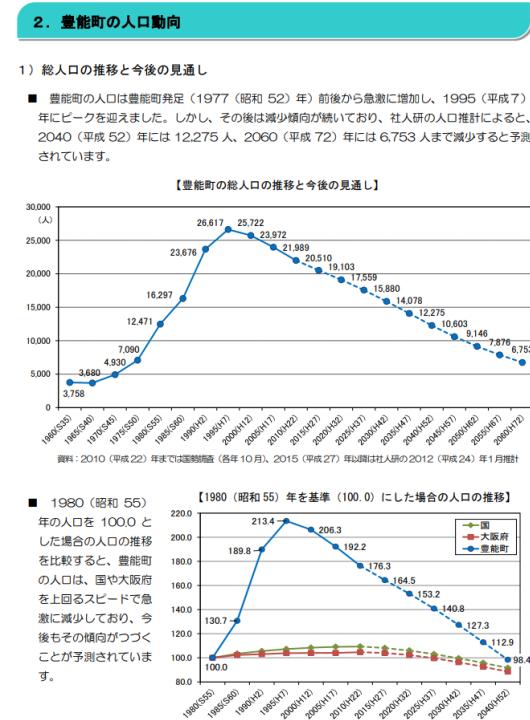
# Webの情報を見てみる

自治体前回の課題感も把握  
(自治体訪問時必ず説明される)

具体的には政策情報

子育て環境を整えて住民増やしたい

自治体名 + 課題で検索



Webには自治体の情報が色々

Web情報の構成  
Topは自治体が考える大枠

課題を合わせて検索すると  
過去から自治体が向き合ってきた課題における情報がある



提案するサービスは、課題と  
マッチしているのか？



ただし自治体でも気が付かない  
点もある  
(気が付いてたら解決できている)

# 課題からアプローチ先を検討

提携可能性を企業リストから探し、  
自治体へ向けてシームレスなサービスを検討

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF
企業名		コンサルティング	少子化	子育て	教育	高齢化・介護	健康	福祉	まちづくり	交通・移動	観光	ものづくり	キヤツシユレス	防災	防犯	行政手続き	データ基盤連携・通信網	土地・インフラ・センサ	その他(食品・環境)	その他(感染防止対策)	その他(一次産業)	その他(セキュリティ)	その他(デリバリ、オンライン)	その他(5G通信基盤)	その他(エネルギー)	その他(保険・補償)	その他(地盤地盤の促進)	その他(スマートシティの実現)	取り組みに及ぼす影響	その他(スマートシティの実現)	
No	連携可能	合計	17	7	18	23	45	43	26	62	44	45	12	17	48	22	28	47	34	1	3	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1
1	○	0	1	2	5	5	5	1	6	12	10	3	1	7	5	7	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

企業名

+既存パートナ活用

スマートシティのサービスは1社では難しい仲間を作ろう！

自社のサービスが課題とマッチ



1社で解決できない場合  
仲間を募る



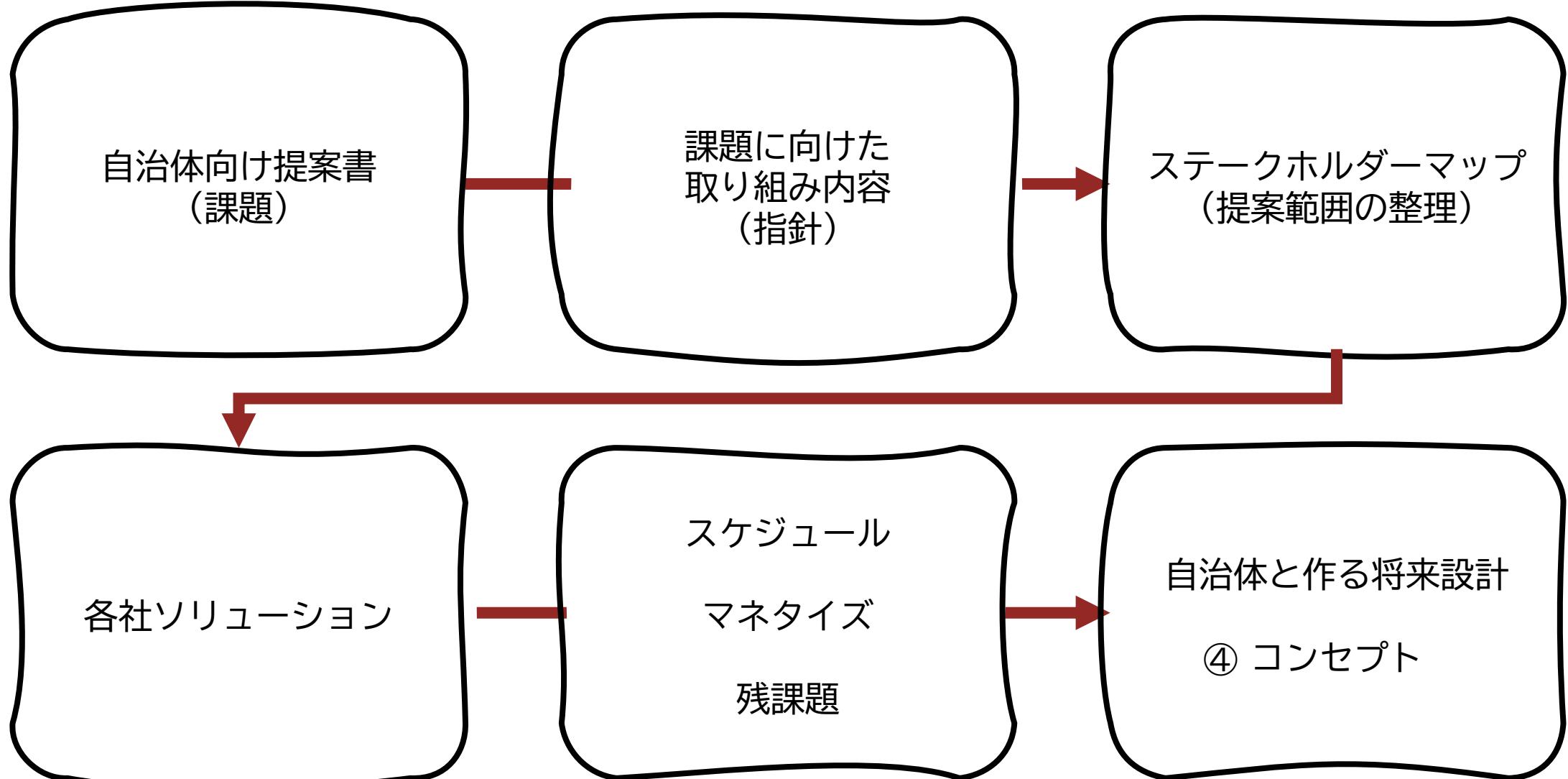
シームレスに繋がるか  
仲間とも相談  
(OSPFでは230社が参加)



パッケージ化すると  
既存事業の強化  
新規事業の創出

# 企業側提案書を作つてみよう

## 0SPFプロジェクトコーディネーターのグランドデザイン骨子



# 課題に向けた取り組み内容（指針）

OZ1

## 豊能町例

初期課題：人口減少+移動問題

課題要約：2万人の人口の1/3が65歳を超える、「20-30代結婚を機に転出」

Webの豊能町人口  
ビジョン情報

人口減へのアプローチ



町長の所信表明：「**教育大綱**」

⇒教育で人口増を考える

街の課題を企業から見て再構築  
(強み・弱みなど利用)



課題・方針に合わせて初期設定  
(方針すり合わせ)

## 豊能町における課題解決の糸口を再設定

### 根本課題

急速に進む人口流出と少子高齢化

- 2020年(7月末)は19,174人の人口が2045年には8,612人になる。
- 人口流出と共に少子高齢化も進み、2045年には町内のおよそ2人に1人が高齢者になる。

### 基本目標（自治体の課題を読みながら考える）

豊能町の進む高齢化と人口減少を軽減させるため、**人口流入による地域の活性化**活性化による高齢者の支援を基本します。また豊能町の最大を強みを生かした街づくりを考えます。

#### 豊能町の最大の強み

- 自然の豊かさ 町の9割が「緑」
- 大阪市街地からのアクセスの良さ。大阪駅から妙見口60分（東京で言う八王子高尾さん観光）
- 高齢者が元気（農家も多い。ワインも作ってる）

#### 豊能町の弱み

- 人口流出 若者世代が町外に流出
- 町の強みが見え辛い
- 町内の移動手段

見てる視点を合わせていく

環境変化  
を捉える

コロナ禍で、個人の趣味嗜好の変化を捉える！  
キャンプ・グランピングでの自然との遊びやリモートワークでの働き方改革を活用！

OZ1

## はじめに

大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）における豊能町の課題、「少子高齢化に伴う人口減」に向けて、スマートシティの礎になる教育を基に住民が住みやすい街づくりの検討を進めて行きます。

教育環境はコロナ禍でデジタル化が加速しGIGAスクールなどネットワーク環境が整いつつあります。この環境を活用し、世界でも最もデジタル化が進んでいるエストニアに協力を得ながら、子供たちの未来をみなさんと話ながら作っていくプロジェクトになる事を目的とします。



PISA (15歳OECD共通テスト)  
(国防費=教育)



自治体とのMeetingで  
アプローチ方針を固める

めざす子ども像「豊能町に育りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども」

～地域・住民・教育員みんなで働きから15歳までの教育に責任をもって育てる～

～質性・継続性・発展性を大切にした教育をめざして

『教育力・日本一』を目指す「保・幼・小・中一貫教育の推進

1. 学力向上プラン（2029年度から3元年度）の推進

（国語教育・外国語教育）、ICT教育の充実

む体力・気力の充実を図る体力向上策の推進

究一地域・自然体験学習等の実施

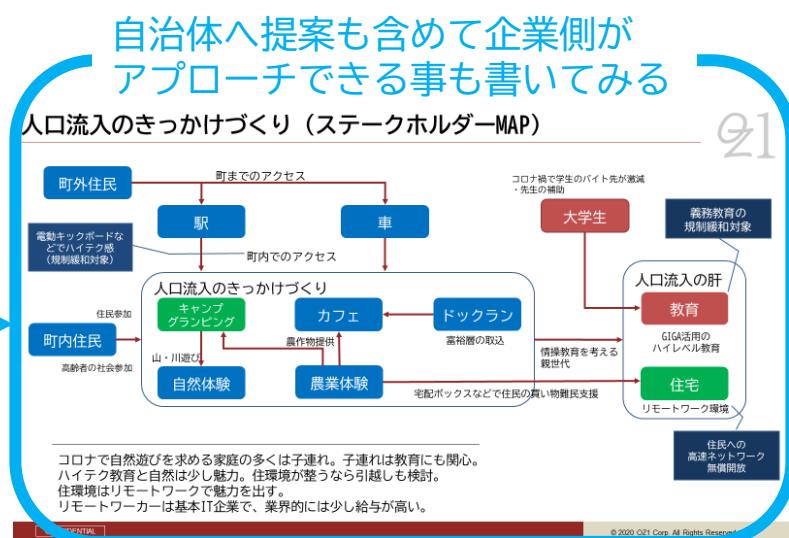
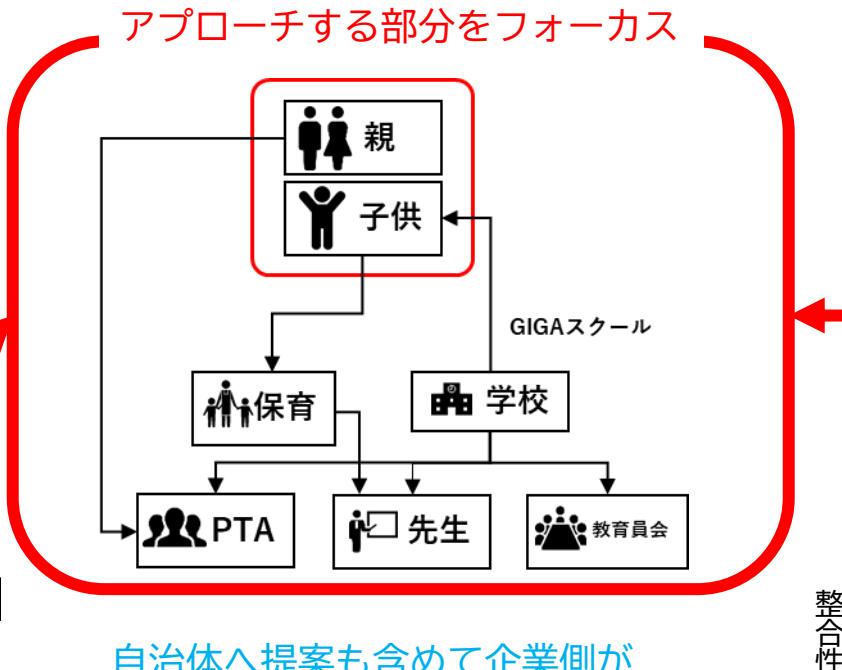
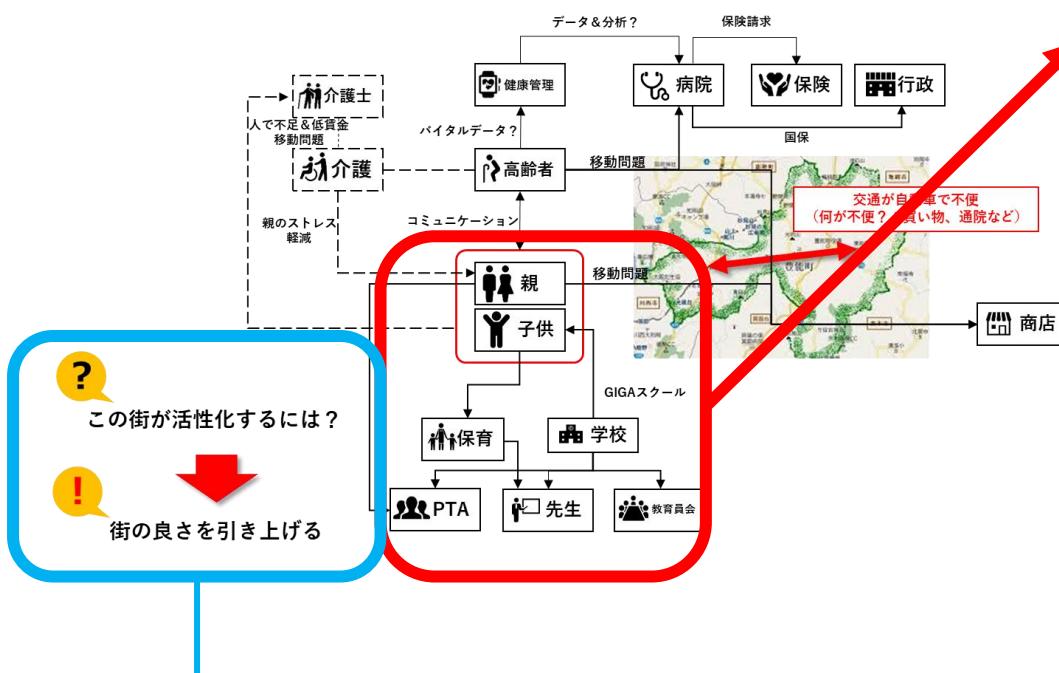
キャラクタ等をふくめた生きる力を育てるキャリア教育の推進

6つの重点

# ステークホルダーマップで自治体と企業の課題の共有化

21

初期に自治体側が作ったもの



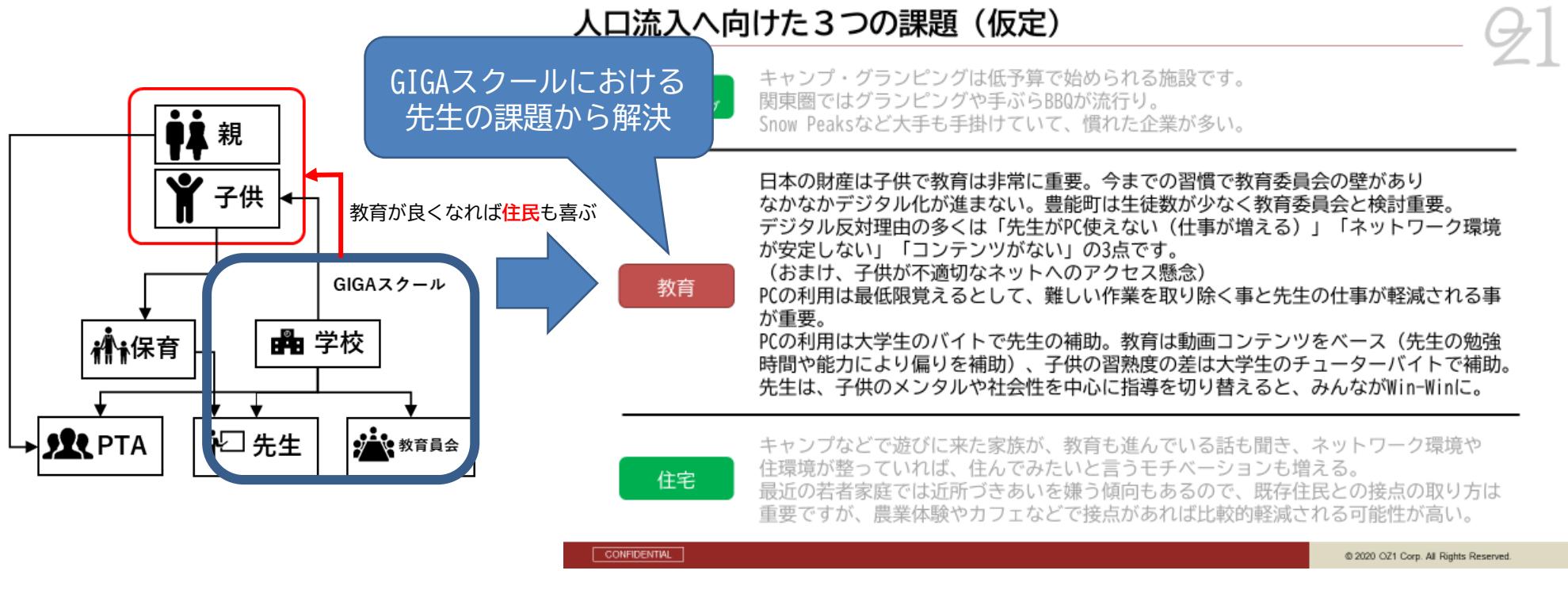
## ステークH. MAPを活用

- ・MAPが上手く書けない場合は  
自治体と企業ですり合わせ
  - ・企業がアプローチする課題  
を組込みアプローチ方法を  
自治体とすり合わせ

アプローチ個所は色付けや課題記載しながら相互理解できるように心がけ

# ステークホルダーマップで課題をフォーカス

## 課題になっている点を自治体と企業で整合していく



MAPで誰に対する何を改善するのか？

企業目線で記載



自治体とすり合わせ



自治体の課題と整合

## そのサービスは何を解決するのか？

MaaSは何を解決するのか

→ オンデマンド交通は、**住民**が移動したいタイミングでシームレスに・・・

ヘルスケアは何を解決するのか

→ 健康情報で**住民**の生活習慣病を改善し、保険診療も削減し・・・

# まずはどんな企業や団体が何をするのか概要を記載します

## 人口流入プロジェクトの座組（各パートナー想定）

役割	企業等	内容
コーディネーター	(OSPF/江川)	現在調整中
キャンプ・グランピング & ファイナンス	日立キャピタルorりそな銀行	EY、日立キャピタルのネットワークでSnowPeaksやその他、良い事業者を誘う。
教育パート	エドテク/Libry/eKoolなど	教育のITシステムおよび教育コンテンツなどの段取り。
大学生アレンジ	検討	OSPFから各大学への呼びかけ。大学生WGの一環。教育支援のチューター・先生の支援
住宅環境	日立キャピタル	住宅のサブスクリプション(月額払い)の新しい住み方。 (日立CapのLife as a Serviceを参照ください。) 家事代行やカーシェアなど多岐にサービスを提供する事を考えてます。
ネットワーク環境	日立キャピタル・NECネット・OZ1	基本Life as a Serviceの一環。構築はNECネット社が検討可能。 データ連携基盤はJP-Linkを豊能町に無償で提供(豊能町で常に活動状況がトラッキング)

CONFIDENTIAL

© 2020 OZ1 Corp. All Rights Reserved.

## 座組と各社の役割

誰が何をするのかの概要（予定）  
既に決まっているもの  
これから調整するもの

具体的なソリューションは各企業の  
提案内容をAppendix



# 提案内容を深堀する

## 自治体と期待値が合うと、色々見えない情報も確認できます 頂いた情報で、何をするのかを検討進めましょう

①  
自治体との  
Meeting  
色々とネットに  
無い情報も

### Meeting×モ

町の状況説明  
西地区は、寝る環境でOKだった。東地区は、農村で農作してたら、基本満足。  
町民の壁：団体が育っていない→気持ちをまとめる組織がない。自治会加入率が高いが減り始めている  
東は人の受け入れを積極的にしたくない。町外住民のマナーが必要。地域との共生  
法 律：市街化調整区域（少し緩和した）農業も守らないとダメ。と言う意識がある。（府の都市計画と調整）  
希望ヶ丘も少しリモートワークで住民が増えてきた。  
未活用の空き家問題  
・空き家があるが、流通していない。700件くらいあるが手放さない。  
・親の実家として、保有してたい。（親の遺品などあるため）  
・西には都市計画税がなく、固定資産税のみ。（5-6万円/年）  
空地活用  
・72ヘクタールの戸知山がある。過去研修施設として作る予定が、16年前に頓挫して町に寄贈  
(上下水道がない。井戸や下水)  
妙見口駅（サイクリングもあった）  
・国道など公道の規制緩和が必要になる可能性が高い  
ドッグランは近所の散歩（ワンちゃんと一緒に避難できる場所は必要を感じる）

確認編

CONFIDENTIAL © 2020 OZ1 Corp. All Rights Reserved.

②  
情報から再度提  
案フィールドを  
確認しましょう

### 豊能町からの提案検討フィールド



CONFIDENTIAL © 2020 OZ1 Corp. All Rights Reserved.

### 子育てフィールド

豊能町吉川小中一貫校設立（吉川中に集約）  
教 育 全 体：エストニアのeKoolを活用し、みんなが子育てに参加する環境を構築  
(エストニアはE統一テストで常にNo.1)  
教育コンテンツ：オンラインコンテンツの拡充  
①YouTubeなど使い教育（教え方）を競争原理にさらし、子供たちの分かりやすさを重視  
②先生の教える作業を軽減します。  
生徒・先生支援：先生の活用を行うことで、先生の作業の軽減、生徒の学ぶ時間をケア  
(大阪府・市立大学参加確認済み)  
国際交流：エストニアとの学生交流の場を作ります。  
①エストニアも小中高一貫校が多く、日本にも興味を持つ学生も多く居ます。  
②オンラインで学生達を結ぶ事で、語学や文化の交流を促します。  
③エストニアでは小学生からプログラミングを行うので、日本のIT人材育成にも役立ちます。  
(大学生がチーフで入ることで、日本の大学生にも良い刺激になります)  
★エストニアの授業を日本でも取り込めないか？（プログラミングなど）

GIGAスクールの機材を最大限に使い、日本の教育を「夢を語れる豊かな人材育成に」

CONFIDENTIAL © 2020 OZ1 Corp. All Rights Reserved.

### 地域人材交流

豊能町吉川小学校（廃校利）→ 高山小学校は既に廃校で利用可能  
OSPF産官学民交流センター（フューチャーセンター）  
【大阪公立校大学の教授の研究の場】  
・自然豊かな場で気持ちをリフレッシュして、研究内容を見直したり瞑想する場  
・企業との意見交換しプロストする場など  
・子供たちも社会に触れて欲しい/通信高校の役割も検討  
【リモートワーカーのインキュベーションオフィス（交流の場）】  
・大学の教授たちとも気軽に交流も可能（一緒にBBQも）  
【企業のオフィス利用（山形県の熱中小学校みたいな感じ）】  
・一部ベンチャーなどのオフィスとしても貸し出し  
【地元住民との交流の場】  
・スマートシティで実験中のテクノロジーやコンセプトなど触って意見交換  
・子供たちの学びの場  
・一緒にBBQなどイベントで交流  
【エストニアや北欧との文化交流】  
・エストニアや北欧の自然豊かな遊びや文化などを感じられる場（エストニアはITだけじゃない）

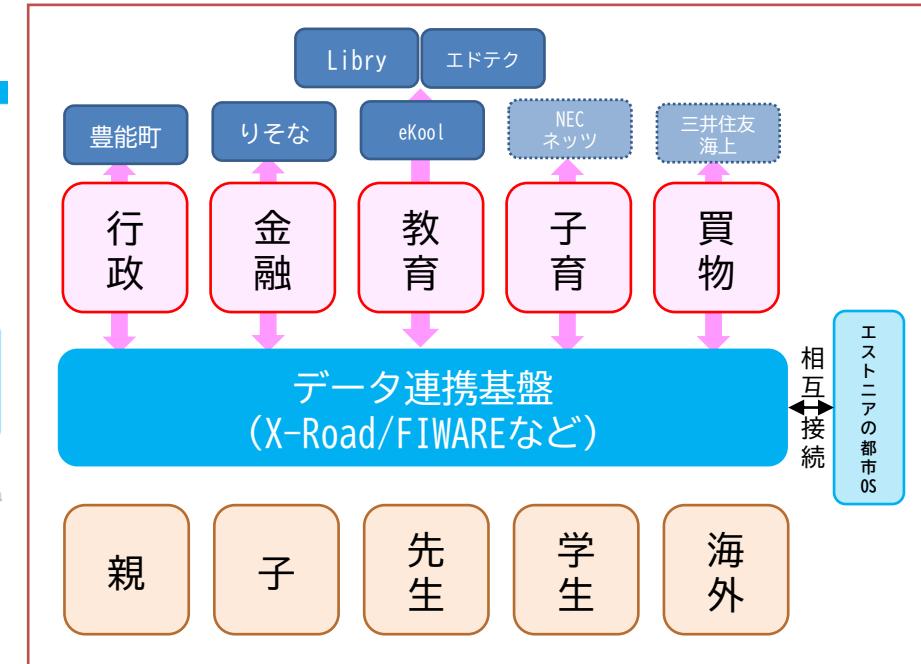
CONFIDENTIAL © 2020 OZ1 Corp. All Rights Reserved.

③  
提案フィールド  
で何が出来るか  
検討

③  
提案フィールド  
で何が出来るか  
検討

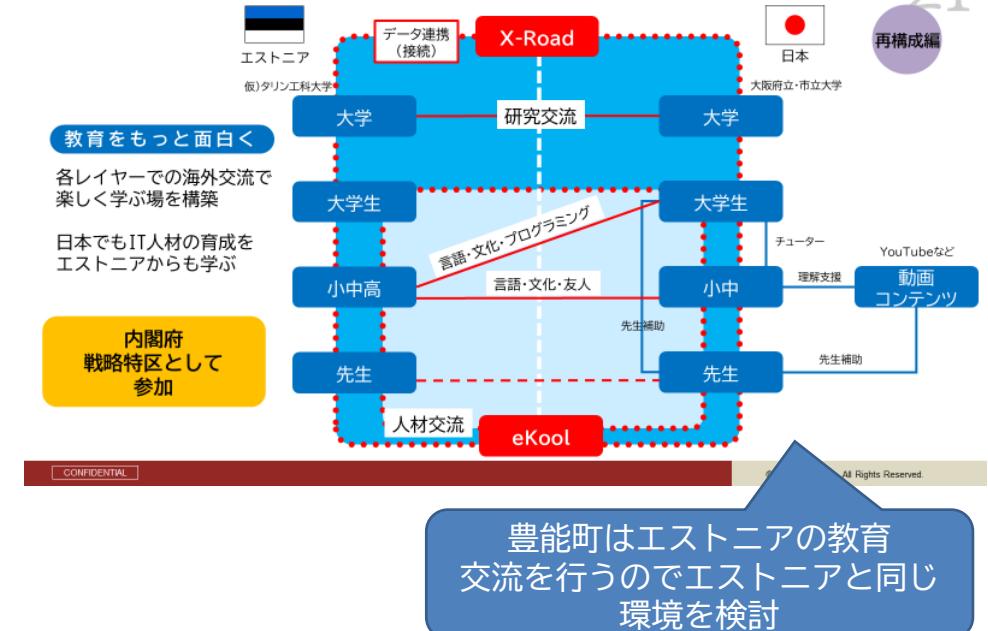
# スマートシティ的提案では

スマートシティでは各分野や関係者がデータ・サービス連携される事で住民のQoLを向上を図る



豊能町を絵にすると・・・  
イメージがつかないので

## 教育環境



データ連携の本質論は、データでつながる事より、データを活用して新しいサービスが生まれる

新しいサービスは、**住民が簡単にサービスを受ける環境**なので、すぐにデータ連携が必要とは限らない

## スケジュール

Work Breakdown Structure (WBS) などを利用して、自治体と企業（パートナー含む）と何をしていくのか記載

## マネタイズ

今回のサービスを行う上で、誰からどのような費用を捻出するのか

その仕組みは持続可能なのか

自治体向けにカスタマイズが必要や設備など資産が自治体に残るものは、自治体と予算検討

（可能なら）収益の地産地消を目指す

住民サービスは基本住民から収益を得る事になり、その収益が自治体に還元できる仕組み

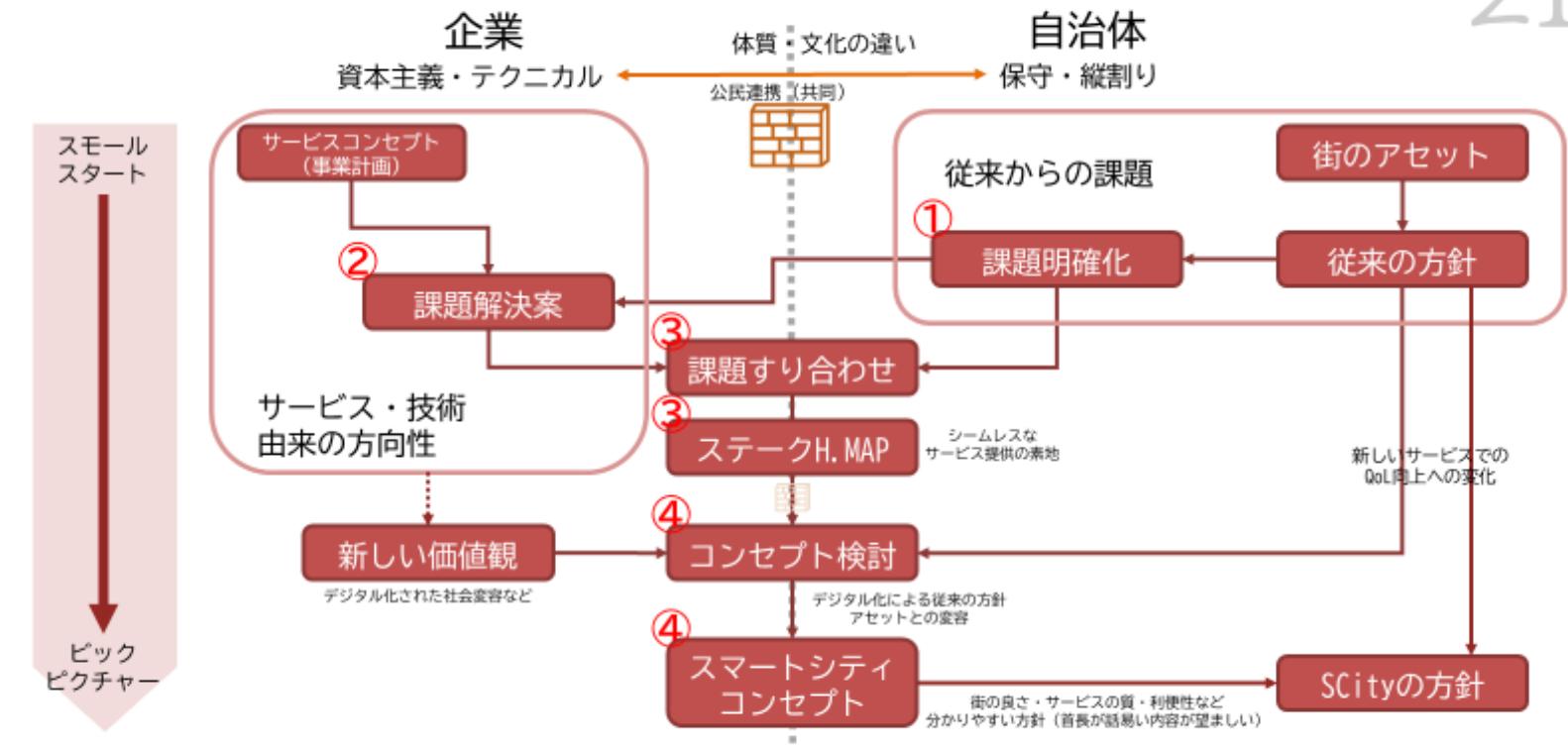
## 残課題

スマートシティのサービスは非常に幅が広い為、全てを網羅的にサービス展開は難しい

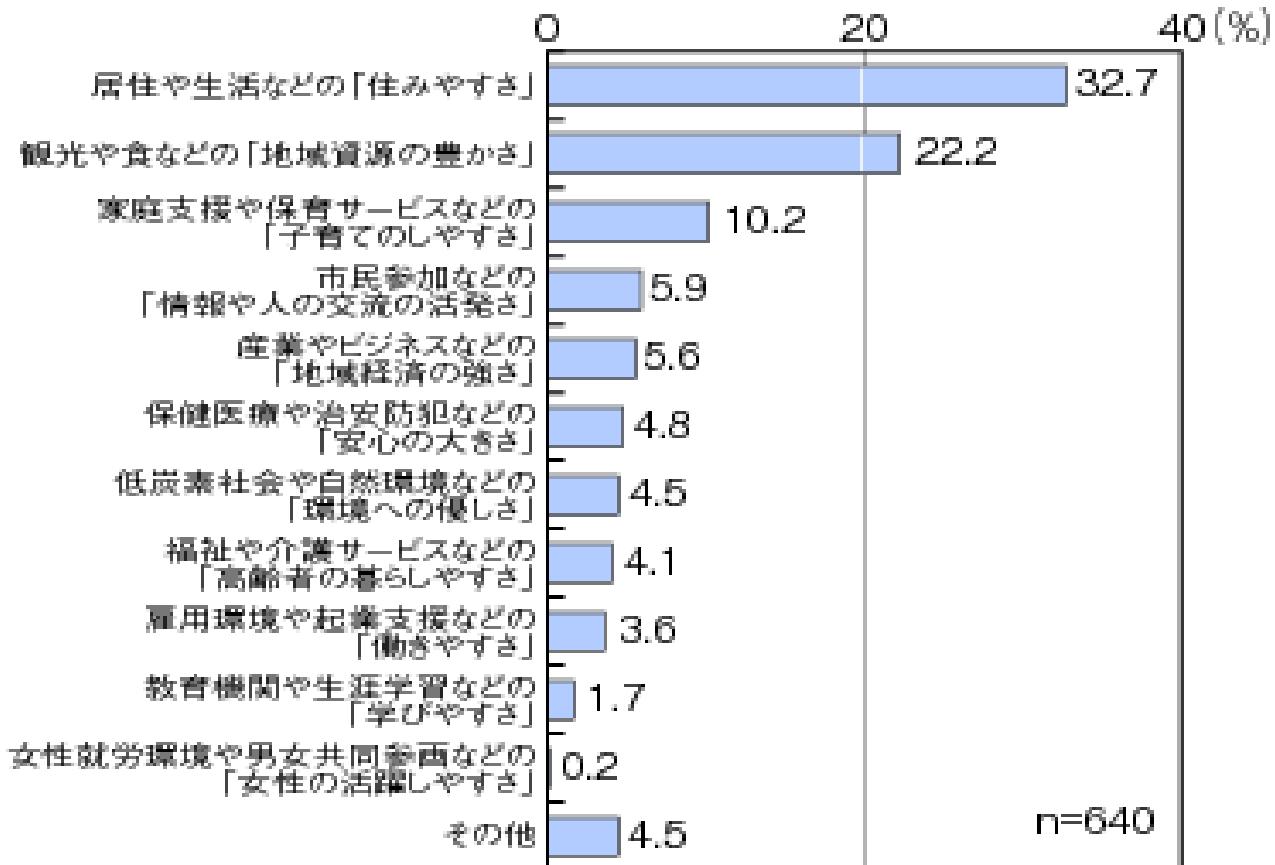
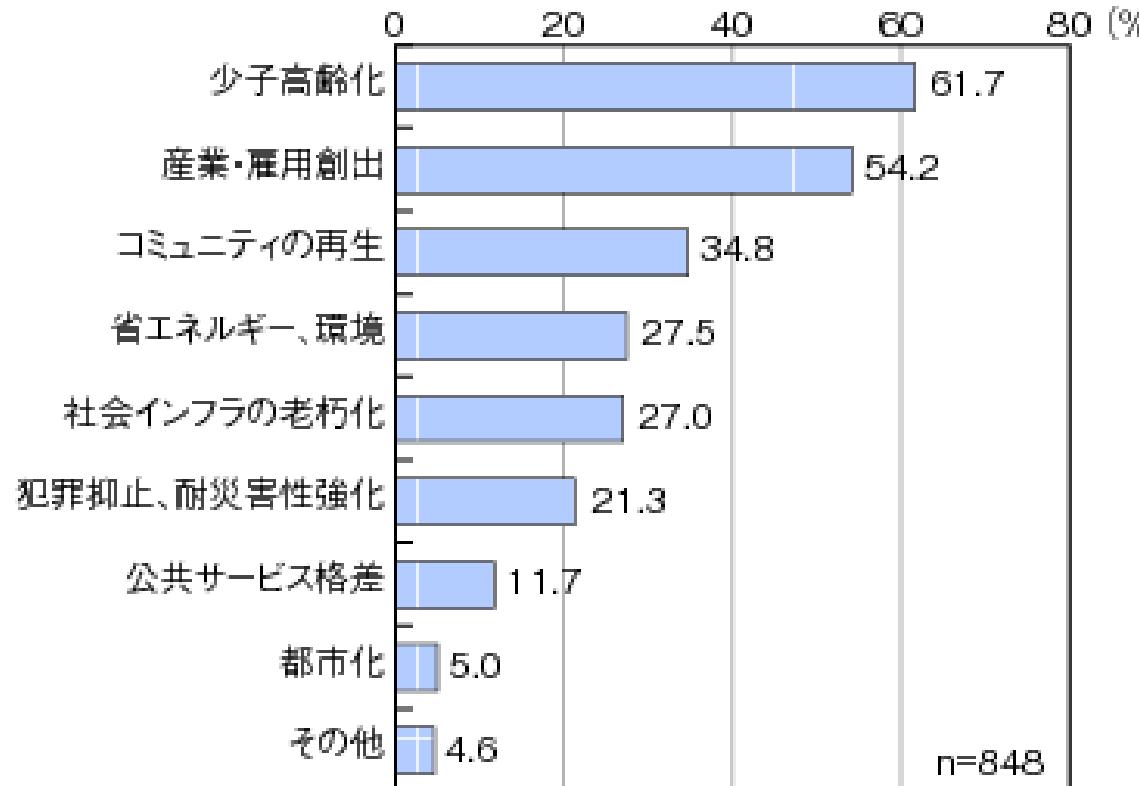
1-2年でスマートシティもできないので、数年かけて残課題も解決しつつ組み立てをしましょう

# ④コンセプト・ブランディング

## スマートシティコンセプトの流れ



## 「少子高齢化」と「住みやすさ」への取組みが自治体の主課題



同じ課題であれば、都会が便利に・・・  
スマートシティでも自治体課題は同じであり続ける？

出展：総務省：街づくりの観点から自治体が抱える課題

# 住民の街に求める住みやすさとは？

スマートシティになっても人が住みたい環境は、大きく変化しない

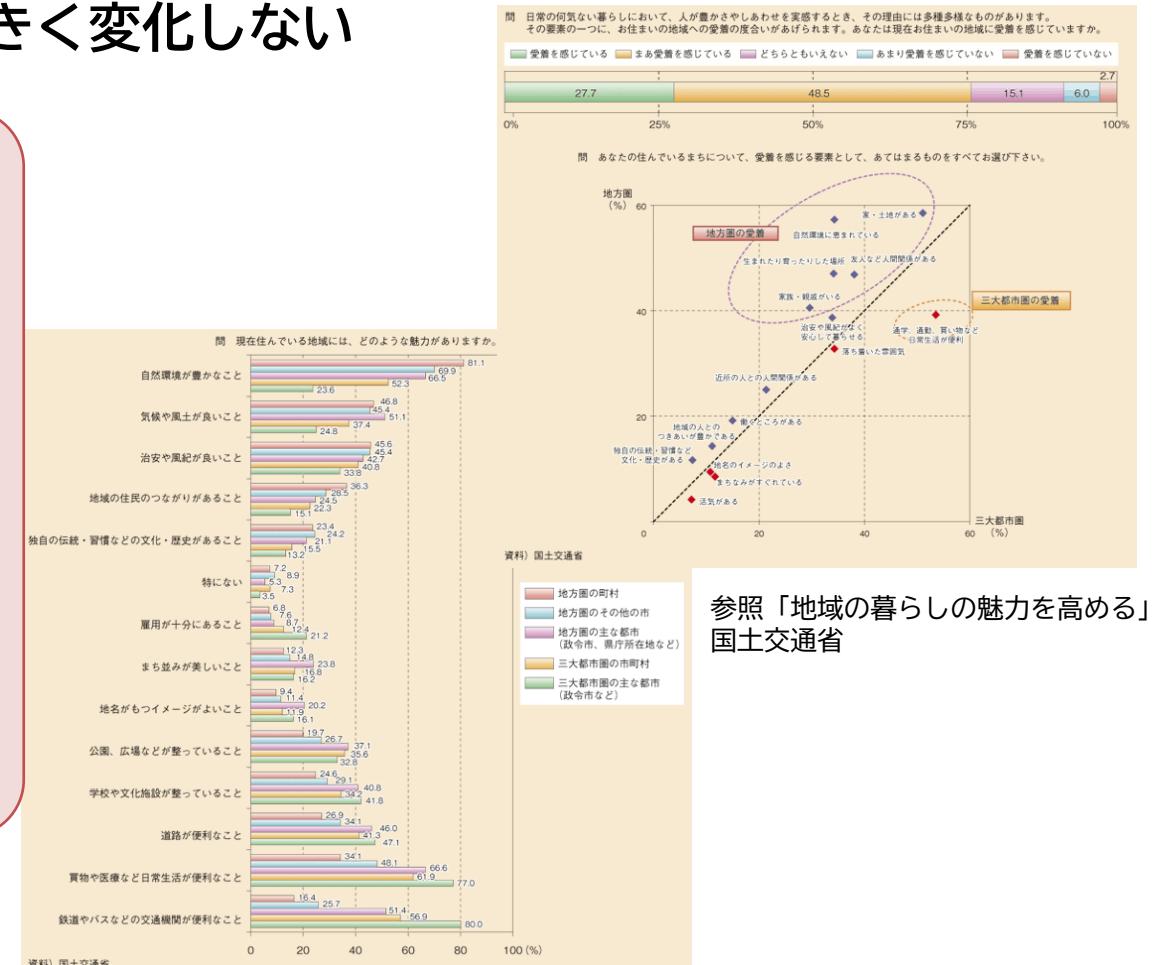
街選びの重要なポイントとは？

住んでみたい街、人気の街に共通する「9つの要素」

1. 交通利便性
2. 生活利便性
3. 居住快適性
4. 安全性
5. 資産性
6. 街の雰囲気
7. 再開発エリア
8. 子育て環境
9. お受験や教育環境

参照：LIFULL HOME'S  
[https://www.homes.co.jp/cont/town/town\\_00221/](https://www.homes.co.jp/cont/town/town_00221/)

9つの内5つは都心的要素が強い



利便性が主になると、三大都市に移動する人が多かった。地方自治体は、大都市に人口が流れていたがコロナ禍で生活環境が大きく変わった。今、**地方自治体が願う「スマートシティとは？」**

# 街のコンセプトとは？

自治体がスマートシティで考えていく事は、住民が住みたいと思える街づくり

街づくりライブラリー

**Concept**

~About~  
時代の象徴として誕生した複合都市「東京ミッドタウン」

東京ミッドタウンの敷地である旧防衛庁跡地の入札が行われた当時は、いまだバブル崩壊後の資産デフレが続いている時期。日本経済が不景気にあえぐ中、東京が国際都市としての競争力を飛躍的に高めていくために、働く・住・遊・憩が高度に融合し、世界中からさまざまな人や企業が集まり、新たな価値創造の舞台となる、これまでにない街づくりを官・民協働で目指しました。

働く  
憩う  
泊まる  
食べる・遊ぶ  
知る・学ぶ  
憩やす  
集う  
住まう

各項目をクリックすると代表施設が表示されます。

東京ミッドタウンは、オフィス・住宅・ホテル・商業店舗・美術館など、都市に求められるさまざまな機能を備えた大型複合施設です。

**Concept**

~Concept~  
多様な融合と調和から「JAPAN VALUE」を生み出します

2007年春の開業以来、東京ミッドタウンは「JAPAN VALUE」を世界に向けて発信していくことを、街づくりのビジョンとしてきました。多様な都市機能をコラボレーションさせて新たな価値を創造する「DIVERSITY」、日本古来のおもてなしの心が息づく「HOSPITALITY」、人と緑が共生する空間「ON THE GREEN」、デザインとアートの新たな才能をはぐくむ「CREATIVITY」。この4つのコンセプトのもとに、私たちはこの街づくりを推進しています。

Diversity  
Hospitality  
On the Green  
Creativity

東京ミッドタウンに住みたい人

- ・お金を気にしなければ多くの人は憧れを持ち住みたいと思います

なぜ住みたい？

「コンセプト」・「ブランディング」  
があり、それに合わせた街づくり

スマートシティは  
「MaaSで便利」「行政サービスがデジタル」「遠隔医療」・・・デジタルサービスが重要ではない

自治体と企業で協働で考える事が重要  
(一つの目標を共有する)

出展：三井不動産

[https://www.mitsufudosan.co.jp/machidukuri/tokyo\\_midtown/concept.html](https://www.mitsufudosan.co.jp/machidukuri/tokyo_midtown/concept.html)

# スマートシティのコンセプトとは？

